

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち
施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
主管課名	環境安全課		
関係課名	企画政策課・農林水産課・埋没林博物館・水族博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> 山から海までの自然環境が保全されています。 森林のもつ保水能力やCO2の吸収など多面的機能が維持・増進されています。 多様な生物が生息し、生態系が保全されています。 豊かな自然を体感し、親しむ場が整備されています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市 事 業 民 所	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑を守る活動に参加し、協力します。 節水等に協力します。 野生生物との共生のための広葉樹の植林などに参加します。
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> 森林の保全など生態系のバランスを保つための施策を行います。 水と緑の保全のための啓発を行います。 自然保護ボランティアの育成を行います。
	そ の 他 (地 域)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関・団体(県、森林組合、ボランティア団体、企業、農協、漁協等)と連携し、森林の保全、水辺地の保全など健全な水循環の保全を図るための取り組みを行います。

施策のトータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	9 (9)	11 (11)			
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	4 (4)				
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	2 (2)				
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	3 (3)	3 (3)				
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	2 (2)				
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	30,233	54,878				
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	2,175	25,905				
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	21,549	17,073				
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	4,917	9,058				
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	1,592	2,842				
C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	20	26				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	4,200	6,720				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	18,476	28,184				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	48,709	83,062				
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	682	1,246			
	同 上	円	—	417	640			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	1,099	1,886			
同 上	円	—	1,099	1,886				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	1,099	1,886				

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194		
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036		

基本事業概要シート①

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名①		水循環の保全	
基本事業①の目的(意図)		森林などの保全による水の浸透・涵養能力の保全、海の藻場などを含む水辺地の保全・再生を図り、健全な水環境の保全を図ります。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【水資源調査研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕田等を利用した地下水涵養事業を魚津・滑川地域地下水利用対策協議会との共同により継続実施するとともに、「魚津の水循環に関する調査、研究」を富山大学と共同研究し、その成果等について報告会を開催しました。 <p>【環境基本計画策定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市環境基本条例第11条第1項に基づく「魚津市環境基本計画」の平成26年度末までの策定に向け、環境審議会等の関係組織において協議しました。 <p>【魚津の水循環事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水循環遺産マップの増刷と遺産新規登録箇所を追加した改訂版を作成しました。また、遺産登録地等3カ所に標識や解説板等を設置及び魚津埋没林博物館敷地内に「魚津の水循環」総合案内板を設置しました。 ・「魚津の水循環」の理解を深めるため、一般市民を対象とした体験ツアーを6回開催しました。 <p>【片貝川上流地域整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水改修及び防災サイレンの設置を行いました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
水循環が保全されていると思う市民の割合	%	—	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	66.0	80.0
			—	51.7	50.4	51.5			

基本事業①を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	魚津の水循環事業	3,896,000	3,521,145	374,855	A	企画政策課
2	一般会計	水資源調査研究事業	1,412,000	1,243,975	168,025	A	環境安全課
3	一般会計	環境基本計画策定事業	313,000	140,303	172,697	B	環境安全課
4	一般会計	片貝川上流地域整備事業	21,500,000	21,000,000	500,000	A	商工観光課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
合 計			27,121,000	25,905,423	1,215,577		

基本事業概要シート②

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名②		森林の整備・保全	
基本事業②の目的(意図)		森林の持つ保水能力やCO2の吸収などの多面的機能を維持・増進するため、適正な広葉樹と針葉樹の混交林整備や森林病虫害防除などを推進します。また、里山の持つ環境保全機能維持のための整備に取り組めます。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【水と緑の森づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家、耕地周辺などの里山林(モウソウ竹林含む)や小規模な風雪被害林などで、整備及び管理又は利用について地域の合意形成が図られている森林を対象に、地域や生活に密着した里山の再生整備を実施しました。 <p>【森林病虫害等防除事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内唯一の「航行目標保安林」として指定され、魚津市の歴史的価値を有する天神山において、松林の保全活動を実施しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
豊かな自然環境が保全されていると思う市民の割合	%	52.1 (H22)	53.4	54.7	56.0	57.4	58.7	60.0	65.0
カシノナガキクイムシ被害木の防除数	本	840	867	893	920	947	973	1,000	0.0
			860	888	532	539			

基本事業②を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	森林病虫害等防除事業	372,000	362,700	9,300	A	農林水産課
2	一般会計	水と緑の森づくり事業	23,329,000	16,709,970	6,619,030	A	農林水産課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			23,701,000	17,072,670	6,628,330		

基本事業概要シート③

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名③		生態系の保全	
基本事業③の目的(意図)		魚津の山岳から沿岸にいたる全域の動植物の生息・育成調査を継続的に行うとともに、調査結果を公表し、情報を発信することにより、生態系の保全に努めます。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【生物多様性地域戦略策定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係組織による戦略素案の検討を行い、またシンポジウムの開催して意見や要望等を踏まえて戦略案を取りまとめ、パブリックコメントを終えて、平成26年3月に「生物多様性うおづ戦略」を策定しました。 <p>【自然保護関係事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 池の尻自然環境保全地域の巡視を行い、適正な保全に努めました。(道路状況(崩落等)により、2回のみ実施) <p>【鳥獣適正管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣による農作物被害及び人身被害の防止のため、「鳥獣被害対策実施隊」(民間20名、市職員8名)計28名を編成し、パトロール、追い払い、捕獲等の駆除活動を行いました。また、市職員捕獲隊の技能向上に努めました。 <p>【埋没林博物館調査研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚津市の植物、地質、気象等に関する調査研究を行いました。 <p>【博物館事業(生物調査事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水生生物調査(魚類・両生類)に加えて、魚津市内の動物(爬虫類・鳥類・哺乳類)の調査を行いました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
年間生物調査回数	回	30	31	32	33	34	35	36	36
			30	20	30	37			

基本事業③を構成する事務事業の実績

No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	自然保護関係事業	57,000	29,030	27,970	B	環境安全課
2	一般会計	生物多様性地域戦略策定事業	9,375,800	6,833,794	2,542,006	A	環境安全課
3	一般会計	鳥獣適正管理事業	2,605,000	2,195,509	409,491	A	環境安全課
4	一般会計	埋没林博物館調査研究事業(施策31-③再掲)	(1,852,586)	(1,386,517)	(466,069)	A	埋没林博物館
5	水族館事業特別会計	博物館事業(施策31-③再掲)	(150,000)	(112,382)	(37,618)	A	水族博物館
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
合計			12,037,800	9,058,333	2,979,467		

基本事業概要シート④

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名④		自然の活用と公園の整備	
基本事業④の目的(意図)		自然公園などの豊かな環境を守るとともに、訪れた人々が憩い、感動できる場所にするため、自然公園内の景観保全に留意しながら、施設を整備します。自然解説員と連携しながら、親しみやすい公園にします。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【県立・県定公園施設維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松倉城跡県定公園、片貝県定公園、僧ヶ岳県立自然公園内の林業施設等に関する整備事業を実施しました。 <p>【里山林オーナー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山(約42,000㎡)を市で借り入れ、約1,000~2,000㎡の区画に小分けにし、森林浴などの自然とのふれあいを希望する人に貸し出しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
自然を体感し満喫することができていると感じている市民の割合	%	25.8	26.5	27.2	27.9	28.6	29.3	30.0	35.0
			25.8	35.6	30.9	32.1			

基本事業④を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	県立・県定公園施設維持管理費	4,391,000	2,842,101	1,548,899	A	農林水産課
2	予算なし	里山林オーナー事業	0	0	0	B	農林水産課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			4,391,000	2,842,101	1,548,899		

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
-------	----	-----	-----------

25年度の
評価結果
(基本事業
の成果を
考慮し記載)

<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【水循環の保全】 ◆水循環の保全に関する成果指標「水循環が保全されていると思う市民の割合」では、市民の半数以上(51.5%)が、「水循環が保全されている」と感じています。その割合は横ばいの状況が続いています。</p> <p>【森林の整備・保全】 ◆森林の整備・保全に関する市民アンケート結果では、市民の半数近く(46.3%)が、「豊かな自然環境が保全されている」と感じています。 ◆カシノナガキクイムシによる被害については、急激に減少しており、ほぼ終息したと考えられます。</p> <p>【生態系の保全】 ◆生態系の保全推進のため「生物多様性うおづ戦略」を平成26年3月に策定しました。しかし、平成26年2月に実施した『平成25年度まちづくり市民意識調査』結果では、「生物多様性」の言葉(意味)を知る市民の割合が、「知っている」17.5%、「聞いたことがあり概ね意味がわかる」19.7%と低い状況にあります。</p> <p>【自然の活用と公園の整備】 ◆自然の活用と公園の整備に関する市民アンケート結果では、「自然を体感し、満喫することができている」と感じる市民の割合は、市の目標値(28.6%)を上回っていますが、概ね3割程度(32.1%)に留まっており、十分に満足されているとは言えない状況です。 ◆本市にある中部山岳国立公園、僧ヶ岳県立自然公園、松倉城県定公園、片貝県定公園などの国や県の指定を受けた自然公園は、適正な保護、管理が行われています。</p>
<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【水循環の保全】 ＜水資源調査研究事業＞ ◆富山大学との共同研究による「魚津の水循環に関する調査、研究」については、各種基礎データの収集、分析、整理等を進めるとともに、研究成果の報告会を開催し、42名の参加がありました。また、魚津市東蔵地内の2.16haにおいて地下水涵養事業を行いました。</p> <p>＜魚津の水循環事業＞ ◆魚津市の貴重な地域資源である「魚津の水循環」を広く市民に周知するために、水循環遺産マップの改訂版を作成した。遺産登録地等3カ所に標識や解説板等を設置しました。また、魚津埋没林博物館敷地内に「魚津の水循環」総合案内板を設置しました。また、「魚津の水循環」を深めるため一般市民を対象とした体験ツアーを6回開催し、のべ112名の参加者がありました。</p> <p>【森林の整備・保全】 ＜水と緑の森づくり事業、森林病害虫等防除事業＞ ◆市内8地区、24haの里山について整備を行いました。また、カシノナガキクイムシの被害による枯損木を除去しました。(除去本数:539本)</p> <p>【生態系の保全】 ＜生物多様性地域戦略策定事業＞ ◆「生物多様性うおづ戦略」を平成26年3月に策定しました。 ＜博物館事業(生物調査事業)＞ ◆水生生物調査(魚類・両生類)に加えて、魚津市内の動物(爬虫類・鳥類・哺乳類)の調査を行いました。</p> <p>【自然の活用と公園の整備】 ＜県立・県定公園施設維持管理事業＞ ◆片貝県定公園内市道南又線のマイカーの通行自粛区間の設定やレンタサイクルの貸出し等により、車両の乗り入れを抑制に努めました。また、片貝山の守キャンプ場を適切に管理し、豊かな自然とのふれあいや観察等の機会の提供に努めました。</p> <p>＜自然保護関係事業＞ ◆「地の尻の池自然環境保全地域」の巡回調査については、林道状態が悪いため2回の調査しか行うことができませんでしたが、一般の入山も困難であったことから同所の環境は保全されていると考えています。</p>
<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【水循環の保全】 ◆環境基本条例(平成22年4月1日施行)に規定する「環境基本計画」は、今年度末までの策定に向けて庁内会議や「環境市民会議」、「環境審議会」において協議を進めています。 ◆富山大学との水資源に係る共同研究については、これまでの研究テーマによる種々のデータの分析、取りまとめ等を行うこととし、次年度以降の継続を念頭に蓄積したデータ等の活用を目指す新たなテーマ設定について検討、協議していきます。また、魚津・滑川地域地下水利用対策協議会との連携による地下水涵養事業は継続して行っています。 ◆水は、有限であり、本市の貴重な地域資源です。引き続き、市民、事業所等への水の利用や地下水の保全等の啓発に努めるとともに、水循環プロモーション事業、水の学び舎事業を実施していきます。 ◆水循環を広く市民に伝え保全していくため平成24年度から実施している市民向けツアーを実施するとともに、新たに「水の語り部養成講座」を実施し、市民によるツアーガイドを養成しています。また、プロモーション事業として水循環遺産の解説板や標柱を整備していきます。</p> <p>【森林の整備・保全】 ◆カシノナガキクイムシによる被害は減少していますが、多くの枯損木が残存しており、景観を損ねたり林道の通行の支障になったりしています。また、手入れ不足となっている里山が多く、野生鳥獣による農作物被害の一因となっていることから、引き続き「水と緑の森づくり税」を活用した以下の事業を推進していきます。 ①地域や生活に密着した里山の再生を地域住民と協働で推進する「里山再生整備事業」や森林現況調査及び所有界調査、里山林整備(広葉樹林等)、県民参加の森づくり事業。 ②放置人工林、過密人工林、風雪被害林などを針葉樹と広葉樹の混交林に誘導する「みどりの森再生事業」。 ③カシノナガキクイムシ枯損木除去事業。 ◆2017年春に魚津市桃山運動公園で開催予定の「第68回全国植樹祭」については、国や県等と連携して会場や周辺の整備を進めていきます。また、市内関係団体及び庁内組織の体制を整えます。</p> <p>【生態系の保全】 ◆「生物多様性の保全」に関する施策の指針である「生物多様性うおづ戦略」に定めた各種施策や重点的取り組みを具体的に実施していきます。また、生物多様性に対する理解と連携、協力を得るための普及啓発に努めていきます。</p> <p>【自然の活用と公園の整備】 ◆現在、僧ヶ岳県立自然公園内の登山道関連の整備を行っています。今後も継続的に、県定公園や県立自然公園などの整備・保全や景観・美観の保全に努めていきます。</p>

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆「魚津市環境基本計画」については、平成26年度末までの策定を目指すこと。 ◆「生物多様性うおづ戦略」に掲げる将来像や基本目標の実現に向けて、市民、事業者、行政が連携・協力し、取り組みを進めていくこと。 ◆中山間地域を中心に野生鳥獣による農林産物の被害が深刻化しており、これまでの鳥獣被害対策実施隊と行政の二者による対策だけでは限界が見られるため、今後は被害地域の住民や農林業関係団体を加えた四者連携による総合的な対策を進めていくこと。 ◆豊富な水資源や豊かな自然環境などを活用し、市民や訪れた人々が自然を体感し親しむ機会や場を提供すること。 ◆「第68回全国植樹祭」については、関係機関・団体との連携の強化及び庁内組織の最適化を図るなど万全の体制を整えること。 	

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆豊富な水資源や豊かな自然環境を活用し、市民や訪れた人々が自然を体感し親しむ機会や場を提供します。 ◆野生鳥獣による農林産物の被害については、鳥獣被害対策実施隊と行政に加え、被害地域の住民や農林業関係団体を加えた四者連携による総合的な対策を進めていきます。 ◆市民、事業者、行政等が連携協力し、生物多様性の保全と持続可能な利用等の取組みを推進します。 	